

OHK岡山放送・山陽リビングメディア 視覚障害者へ「さりお」を音訳・寄贈

報道関係各位

岡山放送株式会社（以下OHK）と、フリーペーパー「さりお」を発行する山陽リビングメディア株式会社は、視覚障害などで読書が困難な方に向けて「さりお」を音訳する取り組みを本日4月9日より開始いたします。

音訳とは視覚障害者など文字が読みにくい人のために、音声で情報を提供する活動で、図書や新聞などの文字情報を朗読・録音する作業までをさします。

OHKでは、これまでも、国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の“誰一人取り残さない”基本理念のもと、放送局として“誰一人情報から取り残されない”情報のバリアフリー社会を目標に掲げ活動を続けてきました。

昨年12月には、27年間継続してきた放送活動「手話が語る福祉」の制作チームが、テレビ局の放送活動としては初めて「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者 内閣府特命担当大臣表彰優良賞」を受賞しています。

こうしたOHKの取り組みに対して、山陽リビングメディアでも障害特性に合わせた情報のバリアフリーの実現をしたいとの想いから、「さりお」の記事を音声化し、視覚障害者に届ける取り組みをスタートすることになりました。

生活情報の分野での録音図書がまだ少ない中、地域に根差したコミュニティペーパー「さりお」の生活情報記事は、視覚障害者が特に知りたい情報の分野です。

音訳活動にあたっては、毎月「さりお」の中から記事を抜粋し、OHKアナウンサーが朗読を担当、文字を声に変え、視覚障害者と地域を繋ぐ役割を果たしていきます。

初回の音訳データは、本日岡山県視覚障害者センターへ寄贈します。その後CD化され、岡山県視覚障害センターを通じて岡山県立図書館、岡山・倉敷市立図書館、岡山盲学校、岡星寮に配布されます。



OHKと山陽リビングメディアでは、今後もグループメディアとして、情報のバリアフリーの実現に取り組むとともに、情報のつながりを通して、心豊かに暮らせる社会づくりに貢献してまいります。

【本件に関する問合せ】

岡山放送株式会社 企業広報担当 原田亜希子

TEL 086-252-3218 FAX 086-254-4160

山陽リビングメディア株式会社 「さりお」編集長 谷川恵子

TEL 086-243-1300 FAX 086-243-1305